

# 情報検索の技法～一歩進んだ図書館オリエンテーション～

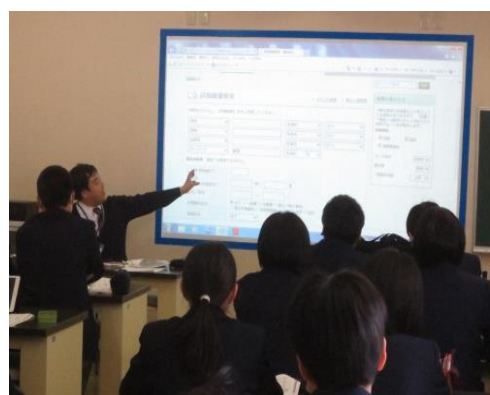
高校1年  
「社会と情報」利用指導  
「情報システム」

ねらい

生徒が論文作成・進路探究・探究学習などにおける課題解決のための情報検索の方法に習熟し、学校図書館の応用的な利用方法を知ること、課題発見能力及び課題解決能力を身につける。

## 学 習 展 開 . . . . .

- ①様々なメディアの内容と特性を理解し、学校図書館における検索方法を理解する。
- ②NDCに基づく図書の探索方法を理解する。
- ③OPAC (Web) を活用した図書の探索方法を理解し、実際に検索もタブレットで実施する。  
\*キーワード検索、書名検索、件名検索 etc
- ④生徒の関心を広げ、深めるために「新書マップ」(<http://shinshomap.info/>)を紹介し、検索演習を実施する。
- ⑤ウェブサイトの信頼性の説明（公的機関のウェブページの信頼性の高さも説明する）
- ⑥公的機関のウェブページを用いた検索演習  
(例) \*鳥取県 <https://www.pref.tottori.lg.jp/>



鳥取県立図書館の OPAC (ウェブ上) の検索方法を解説し、その後、生徒が各自のタブレットを用いて検索演習を実施。

## ◆司書教諭と学校司書の関わり

- 司書教諭・学校司書・教科担当の間で、本時の授業内容の打ち合わせと共通理解を行う。
- 具体的な授業案を司書教諭と司書・教科担当が相談をしながら作成し、その授業案に必要な資料や情報を司書が提供する。
- 司書教諭・司書は TT として生徒の学習を支援する。
- 授業案・資料はデータ化して保存する。

## ★指導のポイント

- ◆ 図書館オリエンテーションの一環として授業を実施した。そのため、図書館の基本的な利用方法を先に確認した（中高一貫校なので、生徒はほぼ理解している）。
- ◆ 著作権に関する説明も行う。
- ◆ 事前に生徒の興味関心の深い分野を把握しているとスムーズに授業を展開することができる。

## 資料

「学びの技 14歳からの探究・論文・プレゼンテーション」

(後藤芳文/玉川大学出版部)

鳥取県立図書館、鳥取県 (トリネット) などの各種ウェブページ